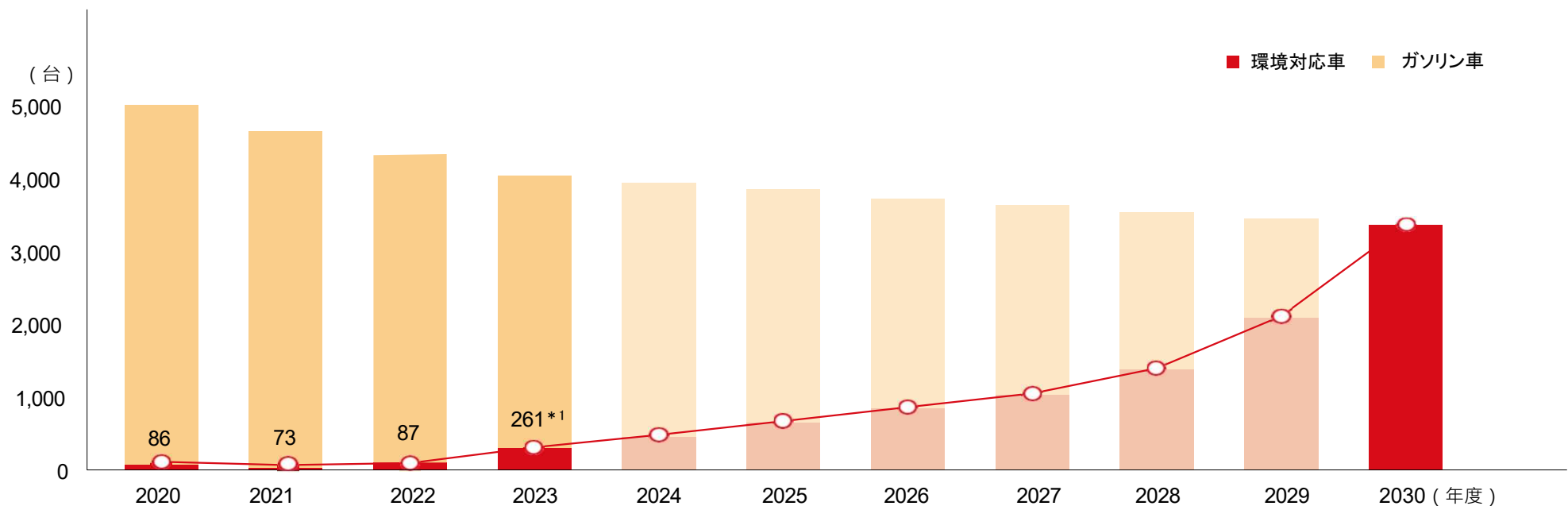


取り組み事例：営業車のカーボンニュートラル化

MUFGは、事業活動に伴うGHGの排出削減をグローバルで進めています。その手法は各国・地域の事情や関連技術の状況などを踏まえ、柔軟に選択しています。営業車についても、国内を中心に、近距離走行を目的とした自動車を順次電気自動車(EV)に切り替えています。中長期的には、各国・地域のルールや社会情勢の変化、関連技術の進歩・普及度合いなどを注視しながら、環境にやさしい最適な手法を慎重に見極めていく方針です。

銀行(国内)が利用する営業車のカーボンニュートラル化の概要



銀行国内における取り組み

- ・ 所有又は賃借している駐車場に充電器を設置し、EVへの給電は原則再エネを使用します。
- ・ 2023年度は、東名阪の36店舗にある210台の営業車をEVに切り替えしました。
- ・ 2024年度は、100～200台の営業車をEVに切り替えていく計画です。

*1 2023年度に210台導入。一方、過去導入したEV36台をリース会社に返還

見通しに関する注意事項

本レポートには、株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループおよびそのグループ会社に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。これらは、当社が現在入手している情報に基づく、本レポートの作成時点における予測等を基礎として記載されています。また、これらの記述のためには、一定の前提(仮定)を使用しています。これらの記述または前提(仮定)は主観的なものであり、将来において不正確であることが判明したり、将来実現しない可能性があります。なお、本レポートにおける将来情報に関する記述は上記のとおり本レポートの作成時点のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有していません。また、本レポートに記載されている当グループ以外の企業等に関わる情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。